

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																										
関西美容専門学校	昭和51年10月1日	雨積 郁枝	〒540-0032 大阪府大阪市中央区天満橋京町2-17 (電話) 06-6942-6220																										
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																										
学校法人関美学園	昭和51年10月1日	雨積 光廣	〒540-0032 大阪府大阪市中央区天満橋京町2-17 (電話) 06-6942-6220																										
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																									
衛生	美容専門課程	美容学科	平成12年文部科学省 告示第22号	—																									
学科の目的	美容師としての職業に必要な実践的かつ専門的知識・技術技能を習得させるとともに、教育理念の根幹である人間力を育み資質の高い職業人を育成する事を目的としている。																												
認定年月日	平成〇年〇月〇日																												
修業年限	昼夜 全課程の修了に必要な 授業科目数又は授業単 位数	講義	演習	実習	実験	実技																							
2	2010時間	510時間	0	1500時間	0	0																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																								
640人	613人	0人	36人	8人	44人																								
学期制度	■1学期:4月1日～7月31日 ■2学期:8月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 原則的に授業科目の成績評価は各学期末に行う試験と履修状況を総合的に勘案して行う。ただし選択科目や一部卒業学科試験および実習成績により判定し卒業を認定する。その成績採点は100点満点とし、各科目60点以上であること。ただし欠席日数が20日以内であることを要する。																									
長期休み	■学年始:4月5日 ■夏 季:7月31日～8月18日 ■冬 季:12月25日～1月6日 ■学年末:3月16日		卒業・進級 条件																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話連絡・保護者へ文章での欠席報告・三者面談等		課外活動	■課外活動の種類 海外研修・校費留学・コンテスト等																									
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 美容室、化粧品販売店、ネイルサロン、ブライダル関連会社等の美容業界 ■就職指導内容 就職セミナー、OBOGセミナー、就職ガイダンス、就職担当・担任による個別相談等 ■卒業生数 265 人 ■就職希望者数 249 人 ■就職者数 245 人 ■就職率 98.3935743 % ■卒業者に占める就職者の割合 92.45283019 % ■その他 0 (令和2年度卒業生に関する 明治33年1月0日時点の情報)		■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家資格</td> <td>②</td> <td>265人</td> <td>249人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)	資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	美容師国家資格	②	265人	249人																	■主な学修成果(資格・検定等)※3	
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																										
美容師国家資格	②	265人	249人																										
中途退学 の現状	■中途退学者 40 名 ■中退率 6.7 % 令和2年4月1日時点において、在学者601名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者561名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的な問題、進路変更等 ■中退防止・中退者支援のための取組 学生との面談、三者面談、入学前授業によるミスマッチ防止等																												
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 待生入試制度により待生となった者は学費を60万円もしくは30万円減免。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																												
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																												
当該学科の ホームページ URL	https://www.kanbi.ac.jp/																												

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

日本美容業界は少子高齢化による人口動態の変化、顧客ニーズの偏移等の社会状況を受け常に変化を続けている。そのため変化に対応できる主体性を持った人材の育成が必要であり、これらの状況を踏まえ美容業界で活躍する業界人や企業と連携をし、業界の動向や現場のニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映させることを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は学校法人関美学園 校長雨積郁枝諮問組織として設置し、関西美容専門学校と企業関係者等の役員者から成るものとし、委員会を通じて示された要請・情報・意見は教務部会議で審議されたのち、校長の許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年9月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
川島 修身	株式会社大国屋 PEEK-A-BOO	令和2年4月1日～令和4年3月31日	③
後藤 尚一郎	株式会社 Re gottz	令和2年4月1日～令和4年3月31日	③
石黒 元也	株式会社 アリミノ	令和2年4月1日～令和4年3月31日	①
雨積 郁枝	関美学園 関西美容専門学校 校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
中岡 聖介	関美学園 関西美容専門学校 教務部 主任	令和2年4月1日～令和4年3月31日	

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、8月)

(開催日時(実績))

令和3年度 第1回 令和3年6月18日 14:00～16:00

令和3年度 第2回 令和3年8月18日 14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

関西美容専門学校の企業連携内容を把握。個々の企業連携を行う授業の内容を改善や業界の即戦力となるためのご意見を幅広く頂き検討、実施。具体的にはコロナ禍での企業連携実習のあり方や、取り組み方等を検討し実施した。また、現在美容業界の新人教育でも取り入れられつつある、オンデマンドやオンラインでの技術指導に関しても意見を交わした。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

美容業界の現状、現場に即した技術、主体的な学びを得る事を基本方針とし、その為全国や世界で活躍する業界の技術者・有識者と連携。また、関西美容専門学校の卒業生に協力して頂く。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

講演授業の場合、適切な企業やサロンの担当や経営者などに依頼をし、時期に合わせた講演内容の打ち合わせを行い美容業界の現状や就職活動、海外での活動の事について等の講義を行って頂く。実技等の実習に関しては、全国や世界で活躍する技術者、もしくは東京や大阪等で活躍する卒業生に依頼し、内容を打ち合わせし講演や、実習形式等適宜行う。講演授業の場合、授業レポートを提出し学習成果を確認する。実習・実技形式の授業はテストを行い可否を出すものや、講演と同じくレポートを提出させ学習成果の確認を行うものがある。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
接客マナー	サロンビジネスの教育指導の実績を基に、「サロン現場で確実にプロとして働ける学生を創る」を理念に、サロンに必要な「接客マナー」と、心からのホームケア・アドバイスが出来る「商品販売技術」を教育。	株式会社ノヴィックス
ヘアカラー	各美容メーカーの教材を使ったヘアカラー授業を、メーカー企業の指導担当者や第一線で働く美容師に直接指導を依頼し授業を行う。	株式会社アリミノ、株式会社ミルボン、ヘンケルジャパン株式会社

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

基本方針として「美を通して社会で活躍できる心身を育てる」という本校の教育理念を達成できるよう、関西美容専門学校職員研修規定に基づき教職員に必要な応じた研修を行う。技術・理論に関する基礎的な研修や、現代の美容業界や学生ニーズに合わせた応用研修。また、技術のみならず、教育現場で働くものとしての姿勢や取り組みに関する研修を行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「PEEK-A-BOOカット講習」(連携企業等:株式会社大国屋PEEK-A-BOO)

期間:令和3年9月6日

対象:実技教員

内容:PEEK-A-BOOスタイリストによる、現場で使われるカット技術研修と新人教員に対しての基礎のカット技術の指導研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コミュニケーションセミナー」(連携企業等:一般社団法人メンタルプロモート協会)

期間:令和3年3月26日

対象:全教員

内容:学生に自信をつけさせるコミュニケーション方法、モチベーションアップを目的とした研修

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「PEEK-A-BOOカット講習」(連携企業等:株式会社大国屋PEEK-A-BOO)

期間:令和4年8月22日、9月26日

対象:実技教員

内容:PEEK-A-BOOスタイリストによる、現場で使われるカット技術研修と新人教員に対しての基礎のカット技術の指導研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「メンタルヘルスケア・学生への声かけ研修(仮題)」(連携企業等:臨床心理士)

期間:令和4年3月28日

対象:全教員

内容:昨今、学生のメンタル面で不調が多くなり、教職員で行えるメンタルヘルスケア、声かけ等を研修として行う

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

関西美容専門学校の教育並びに業務の改善を目的として「専門学校における情報提供等への取り組みに関するガイドライン」に則って情報提供をし、学校・企業・卒業生の相互理解を深め、学校運営・教育環境をより良く、円滑に行う事を目指す。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)国際交流
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

評価項目4 国家試験合格率の低下についての言及があり、特に原因とされる学科に関しての授業方法やテストの改善を行った。

評価項目5 コロナ禍での学生への心の支援に関しての指摘について、カウンセラー等の設置や教職員への研修などの改善を行った。

評価項目6 DX化に伴う設備に関しての言及があり、校内Wifi環境などの改善を行った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年9月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
川島 修身	株式会社大国屋 PEEK-A-BOO	令和2年4月1日～令和4年3月31日	企業委員
石黒 元也	株式会社 アリミノ	令和2年4月1日～令和4年3月31日	企業委員
後藤 尚二郎	株式会社 Re gottz	令和2年4月1日～令和4年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL: <https://www.kanbi.ac.jp/shokusen/>

公表時期: 令和3年6月

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学生就職関連業界に対しては、学校の基本資料を公開する。協力者に対しては、協力を得るための関連項目に関して、より詳しく説明する。その他、法令で求められた情報は、ホームページで一般公開する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念・コンセプト・沿革・アクセス
(2)各学科等の教育	アドミッションポリシー・カリキュラム
(3)教職員	学校組織・教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	資格・認定校・就職実績
(5)様々な教育活動・教育環境	施設
(6)学生の生活支援	一人暮らし情報、サポート制度
(7)学生納付金・修学支援	募集要項・奨学金、教育ローン
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	自己点検自己評価・学校関係者評価報告書
(10)国際連携の状況	校費留学制度・海外研修
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)

URL: <https://www.kanbi.ac.jp/shokusen/>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	アマヅミ ナオキ	所属部署	本部
	氏名	雨積 直紀	役職名	副校長
	所在地	540-0032 大阪府中央区天満橋京町2-17		
	TEL	06-6942-6220	FAX	06-6942-6008
	E-mail	n.amazumi@kanbi.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

[illegible]

12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
合計					科目					単位時間(					単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学期期末試験、卒業学科試験及び実習成績履修状況を総合的に評価認定		1 学年の学期区分	3期
		1 学期の授業期間	14週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。